



 <p>そうふうPartII 爽風 発行者：校長 下地美和子</p>	<p>学校教育目標 創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成</p>
	<p>目指す児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子(凡事徹底)
<p>★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小</p>	

赤土流出防止対策活動

「グリーンベルト植栽体験」教室

1月21日 4年生は、「赤土流出防止対策活動『グリーンベルト植栽体験』教室を行いました。

これまで、4年生は、1学期から総合的な学習の時間に、サニツ浜に出かけ、マングローブや生き物を探したりする活動をしてきました。今回は、与那覇湾に関係するという、海に流れ出る『赤土の問題』を理解する取組として、この教室を開くことにしました。

授業では、南西環境研究所の大城政人さんが来校し、赤土が海に流れ込むことにより、赤土がサンゴに覆い被さり死んでしまったり、光合成が出来なくなってしまったりする事を学びました。そして(株)オールスマイルズ小栗太さんのつくったとても楽しい『謎解き』で環境問題についての関心を高めたり、持続可能な水力発電装置「ペコピカ」を開発した岐阜県の角野先生とオンラインで繋がったり、また、水と混ざった赤土が水と分離する魔法の薬!?を使って水の濁りを取り、生き物を守る方法などを学びました。



その後、友利一雄さんが管理している畑に行き実際に赤土流出防止対策になる『ベチバー』を植えました。この教室は、沖縄本島では実施したことのない授業ということで、昨年度に続き、今回2回目の下地小での実施となりましたが、昨年より更に分かりやすい内容になっていました。与那覇湾やサニツ浜のある下地地区、色々な栄養が流れてきて肥沃な土地と言われますが、今後は、赤土対策も考えていくことが必要になりそうです

ね。今回の授業は、持続可能なエネルギーの問題や、自然環境を守るためには等、色々な学びがありました。今回の授業を受けて将来子ども達は何か発明するかも知れませんね。

最後に、大城さんが「将来この中からノーベル賞をもらえる人も出るかも知れないね～」と話していました。大変、貴重な学習でした。関わってくださった皆様方、ありがとうございます。



沖縄県PTA研究大会国頭大会参加

去った 1月19日(日)に名護市で開催された「第6回沖縄県 PTA 研究大会(国頭大会)」に、役員3名、会長の根間健太さん、副会長の村吉貴光さん、2年会長の洲鎌忠幸さんが参加なさいました。大会スローガンは「共育(きょういく)～共に育み、共に育つ～ 多様な時代を生きる子ども達の未来のために家庭・学校・地域が連携して共に歩む」です。中学校 PTA と参加し、分科会の「組織・運営」では、提言者として宮古地区の平一小 PTA、伊良部島小学校 PTA の発表を聴き、学んだことを今後の PTA 活動に活かしていこうと語り合ったそうです。次年度からは、下地中学校区は、コミュニティスクールも始まります。

PTA の皆さん、今後ともよろしくお願ひします。

